

滝とロッククライミングを眺めて葉の落ちた尾根道を歩く

## 馬頭刈山

実施日 2016年12月17日(土)

天候 快晴

リーダー 濱田 優美子

参加者 島本棟重、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、宇野輝代、天野拓郎、瀧澤きよの、濱田優美子、児玉章、宮崎敏男 計13名

費用 J R 620円(立川起算) 620円

タイム 軍道(8:14~9:40)分岐(9:45~10:20)高明神社跡(10:20~10:40)馬頭刈山(11:20~12:07)休憩(12:15~12:40)つづら岩下(12:40~1:07)休憩(1:15~1:20)綾滝(1:25~1:45)天狗滝(1:50~2:10)千足

予報通り天気は快晴。気分も明るくおしゃべりに花を咲かせながら歩き出す。



会話は途切れることなく続く。どうやらペースが少し遅すぎたらしい。ややペースを上げ

しばらく行くと、はるかかなたに東京の街、スカイツリーがはっきり見える。また、少し歩くと、前方にくっきりと雪を頂いた富士が目に入ってくる。今日は、天気がいいだけでなく、空気も澄んでいるらしい。なかなか雄大な景色だ。

予想より早く高明神社跡を通過し、ほどなく馬頭刈山山頂に到着。

葉の落ちた木の間から、ちらほらと景色は見える



ものの、せっかくの富士山は針葉樹が邪魔して見えない。少し早いがここで昼食とする。

写真撮影を終え、出発。今日は、ここからまだまだ登りが続く。落ち葉の落ちた尾根道は、時々地形がわからず足の置場に戸惑う。



日の当たるところは風もないので暖かいが、木陰、山影に入ると一気に冷え込む。

何度もあるアップダウンにそれなりの歯ごたえを感じつつも、にぎやかなパーティーの話はとどまることを知らない。

皆さんもご存じの「天野さんが出会



ってからどのぐらいでプロポーズしたか」などの話題に大いに盛り上がる。

まだまだ登るかと思っていると、突

然ロッククライミングの岩場に着く。

人々に声援を送り、そこからは急下降となる。ほどなく綾滝に到着。

泡のようになった水が優しく流れ落ちる滝だ。もう一つの滝、天狗滝を過ぎると、まもなく道は舗装道路になった。



終わりよければすべてよし。

今年の山行も天候に恵まれた本日の陽だまり山行をもって締めとなった。

また、来年も皆さんよろしく願いますね。

(記・濱田 優美子)

(写真提供・石原 勝正)